

第 3 回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨

1. 日時:平成 29 年 8 月 24 日(木)10:00~11:32

2. 場所:日本橋ライフサイエンスハブ B 会議室

3. 出席者(敬称略):

歯科基礎医学会(大島 勇人)、日本歯科保存学会(齋藤正寛)、日本歯科理工学会(岸田晶夫)、日本歯周病学会(栗原英見)、日本歯科医療管理学会(尾崎哲則)、日本顎顔面インプラント学会(矢島安朝)、日本口腔インプラント学会(小倉 晋)、日本接着歯学会(西山雄一郎)、日本歯内療法学会(五十嵐 勝)、日本顎変形症学会(片桐 渉)、日本外傷歯学会(宮新美智世)、日本再生歯科医学会(別部尚司)、東京形成歯科研究会(奥寺 元)、日本再生医療学会(大島 勇人、江副幸子、岡田 潔、古川和親、眞野恭輔、海江田千鶴)

欠席(日本補綴歯科学会、日本口腔外科学会、日本歯科薬物療法学会、日本臨床口腔病理学会、日本顎顔面補綴学会、日本小児口腔外科学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔顎顔面痛学会、日本歯科医学会)

未回答(日本歯科医史学会、日本レーザー歯学会、日本口腔感染症学会、日本有病者歯科医療学会、日本歯科心身医学会、日本口腔リハビリテーション学会、日本口腔科学会、バイオインテグレーション学会)

4. 報告事項

- 1) 第 2 回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨(資料 1)が承認された。
- 2) 大島 勇人理事(日本再生医療学会)より、資料 2 に基づき参加学会(29 学会・団体、日本歯科医学会、日本再生医療学会)担当者一覧の説明があり、担当者が決まっていない学会については至急担当者を決めて欲しい旨依頼があった。
- 3) 大島 勇人理事(日本再生医療学会)より、資料 3(日本歯科評論 897 号「歯科における再生医療の行方」)に基づき、第 16 回日本再生医療学会総会における歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウムの開催について報告があった。
- 4) 岡田 潔幹事(日本再生医療学会)より、資料 4 に基づき、資料再生医療等臨床研究促進基盤事業(ナショナルコンソーシアム)について報告があった。個人情報保護法改正に伴う整理・社会医学的な観点・学会としてグローバルな相談窓口の必要性等の意見が述べられた。
- 5) 岡田 潔幹事(日本再生医療学会)より、資料 5 に基づき、歯科 PRP 再生医療等提供計画ひな形作成について報告があった。検討中の資料の提示があり、ある段階で協議会に諮るとの説明があった。開業医の先生の見解を入れて欲しいとの要望が出された。
- 6) 江副幸子幹事(日本再生医療学会)より、資料 6 に基づき、日本再生医療学会認定制度、教科書作成、認定再生委医療等委員会の現状調査と教育システムの構築について説明があった。教科書は 2018 年 3 月に発行予定。
- 7) 古川和親幹事(日本再生医療学会)より、資料 7 に基づき、再生医療サポート保険(自由診療)について説明があった。7 月 1 日に制度がスタートし、4 割が歯科関係。協議会と連携(会員へのメール案内、HP リンク等)の依頼があった。

5. 協議事項

- 1) 大島勇人理事(日本再生医療学会)より、資料 8 に基づき、会則(案)について提示があり、意見交換がなされた。構成員として、国公立大学歯科臨床研究推進会議、日本私立歯科大学協会病院部会を入れてはどうかとの意見が出された。ナショナルコンソーシアムにおける歯科再生医療推進ネットワーク協議会の位置づけについて意見交換がなされた。
- 2) 大島勇人理事(日本再生医療学会)より、歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウムとして第 17 回日本再生医療学会総会におけるシンポジウムに応募したことが報告され、了承された。

【テーマ】歯科再生医療を推進するためには何が必要かを考える(歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウム:産官学の立場の代表者による歯科再生医療を推進するための戦略と課題を発表した後、総合討論で歯科再生医療を推進するためには何が必要かを考察する)

【演者・演題】再生医療企業:「歯科再生医療ビジネスモデルを考える」(仮題)、再生医療行政(AMED 研究開発課):「再生医療実用化研究事業と歯科再生医療」(仮題)、AMED 平成 29 年度「再生医療実用化研究事業」の採択研究者、大学での取り組み:「開業医レベルに歯科再生医療を普及するための取り組み」(仮題)

(文責 大島 勇人)